



学校だより

9月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和7年8月29日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

「昭和100年」「終戦80年」

校長 保科 桂子

暑い日が続いた夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきました。久しぶりの姿を見て、「背が高くなったかも」「元気でよかった」と安心しました。夏休み中いくつかの地域行事に参加させていただきました。お子さんたちがまちの中で、元気に楽しんでいる様子を見ることができ、有り難くうれしく思うばかりです。夏休みが明けたとはいえ、まだまだ暑い日が続きます。健康第一に教育活動を進めていきたいと思っています。

昭和が1925年に始まったことから数えて、今年は「昭和100年」だそうです。（実際の昭和元年は12月から始まったため、一週間ほどしかありませんでした）また、今年は、太平洋戦争が終わり「終戦80年」でもあります。夏休みの間に、テレビや新聞などの報道で、戦争と平和について目にしたり、考えたりする機会があった方もいらっしゃるでしょう。

「学徒動員」で教育活動が停止になったことを考えると、学校も戦争の影響を大きく受けていることに、校長として今更ながら気づき愕然としました。そして、「戦争体験者が年々高齢化し減っていく中で、戦争についていかに知っていくかが現在の課題である」ということにも心を動かされました。そこで、AIなどの様々な技術を使って戦争について知ることができたり、戦争を知らない若い世代の方々が新たな語り部となったりして、継承していく取り組みがあるようです。

小学校の中では、どうでしょうか。例えば、6年生の社会科で、日本の歴史や、政治、国際世界についての学習があります。また、国語の学習では、3年生で「ちいちゃんのかげおくり」、4年生で「一つの花」5年生で「たずねびと」、6年生の「学習をひろげよう」の中の「平和のとりでを築く」と、戦争にかかわる内容を扱ったものがあります。国語の授業の中では、戦争そのものを理解することがねらいではありませんが、その状況を考えながら、人物の心情や行動を考えたり理解したりする学習を行います。命を扱う内容は、時につらさや悲しさもありますが、だからこそ、平和の大切さ、有難さについて学んでほしいと思っています。

平和だから、日常生活を送ることがができます。それを当たり前のもではなく、学び、対話し、考え、認め合っていくことで、維持する必要があるととらえていきたいです。これからの未来を創る子どもたちとも、いっしょに考えていきたいです。